

2022年5月13日

各 位

株式会社福井銀行
株式会社福邦銀行

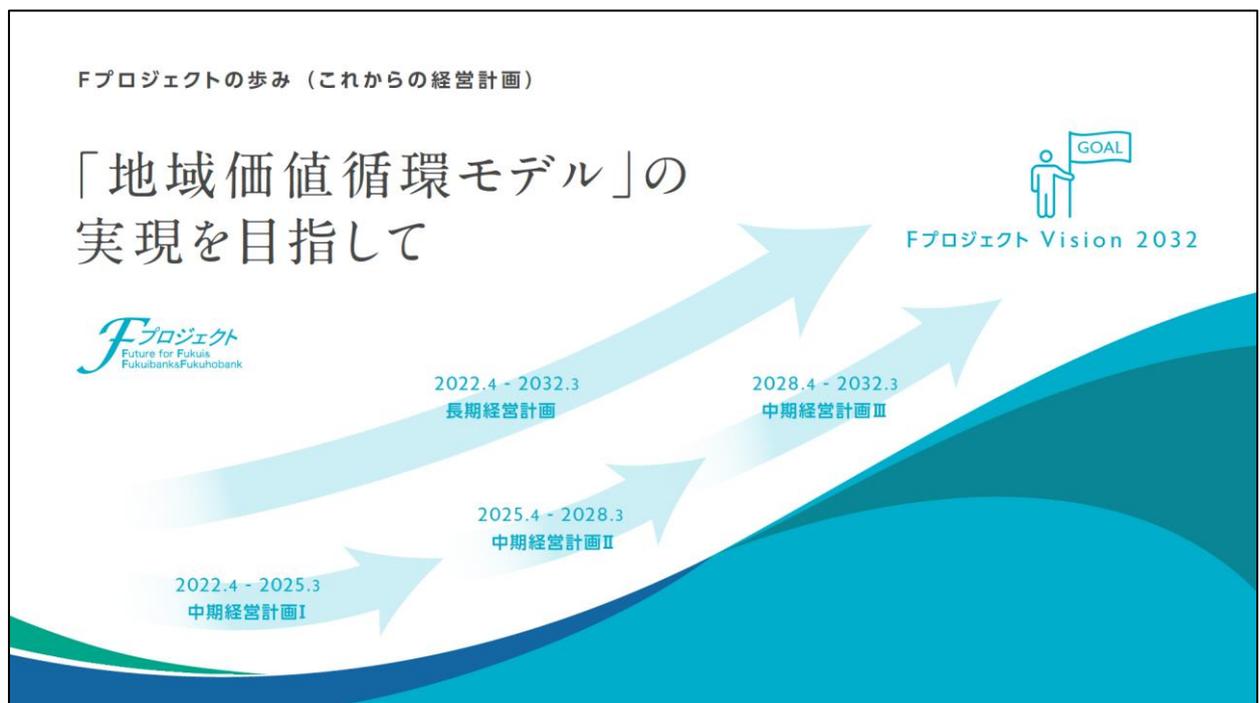
「長期経営計画」および「中期経営計画Ⅰ」の策定について

株式会社福井銀行（頭取 林 正博）と株式会社福邦銀行（頭取 渡邊 健雄）は、「Fプロジェクト Vision 2032」の達成に向けて、10年間の戦略である「長期経営計画」と3年間の戦術である「中期経営計画Ⅰ」を策定しましたので、概要をお知らせいたします。計画の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

記

1. 経営計画の位置づけ・戦略体系について

2022年4月15日に公表した「Fプロジェクト Vision 2032」ならびに今回公表する「長期経営計画」および「中期経営計画Ⅰ」の位置づけ・戦略体系は次の通りです。





2. 「長期経営計画」について

(1) 概要

「F プロジェクト Vision 2032」の達成に向けて、10年間一貫して取り組む内容を長期経営計画にて定めております。長期経営計画に掲げる3つの柱は次の通りです。

ウェルビーイング実現に向けた取組み

アンケート調査で職員のウェルビーイングを定量的に計測しながら、4つのキーファクター（「理念・方針」「組織・風土」「環境・処遇」「意欲・成長」）を軸に取組みを進めます。

3つのドメインによる事業展開

Fプロジェクトが展開する事業領域（ドメイン）を、提供する価値を軸に3つに分類し、ドメイン毎に「中長期的な事業の戦略」を定めます。「コンサルティングドメイン」ではソリューションの提供を、「ユーザビリティドメイン」では金融インフラサービスの提供を、「ファンダメンタルドメイン」ではマーケット運用の実践を行います。

事業ポートフォリオの構築（経営資源配分）

ドメイン毎に経営資源配分の方針と期待するリターンを定め、事業ポートフォリオを構築します。事業ポートフォリオの運用状況をモニタリングしながら、投資計画を柔軟に見直していきます。

(2) 期間

2022年4月1日～2032年3月31日

3. 「中期経営計画 I」について

(1) 概要

「F プロジェクト Vision 2032」の達成に向けて、外部環境変化に合わせて柔軟に取り組む内容を中期経営計画にて定めております。今年度開始する「中期経営計画 I」は、「F プロジェクト Vision 2032」の達成に向けた第 I フェーズとして、スタートダッシュを切る 3 年間で位置付けます。中期経営計画 I で実行する 11 のアクションプランは次の通りです。

- 01_ 役職員へのウェルビーイング浸透
- 02_ ネットワーク（産学官金連携）を活かした「まち・ひと・しごと」の面的支援
- 03_ 伴走型支援を通じた真の経営課題の発見と解決
- 04_ ライフステージに応じたサービスの展開による QOL の向上
- 05_ 金融インフラサービスの利便性向上とプラットフォームの構築
- 06_ 資金運用の多様化とノウハウの蓄積
- 07_ 戦略分野への人財配置と計画的育成
- 08_ 地域に根差した「ヒト×デジタル」のハイブリッドチャネルの提供
- 09_ デジタル利活用による利便性・生産性の向上
- 10_ 収益・ALM・リスクの一体管理とコンプライアンス体制の高度化
- 11_ グループシナジーの最大化

(2) 期間

2022 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

(3) 目標経営指標

アクションプランを実行した結果として次の目標経営指標の達成を目指します。

- 連結当期純利益：40 億円以上
- 連結自己資本比率：7.0%以上
- 連結コア OHR：77%以下
- 連結 ROE：3.0%以上

以 上